平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名　オカダアイヨン株式会社　　上場取引所　大
コード番号　6294　URL　http://www.aiyon.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 苅田　俊幸
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長　(氏名) 簗　耕二　TEL 06-6576-1281

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	5,574	51.9	385	―	397	―	348	―
23年3月期第3四半期	3,669	18.2	△71	―	△85	―	△82	―

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　307百万円　(―%)　23年3月期第3四半期　△129百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	56.59	―
23年3月期第3四半期	△13.31	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,342	3,926	42.0
23年3月期	8,677	3,773	43.5

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　3,926百万円　23年3月期　3,773百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	5.00	5.00
24年3月期	―	0.00	―		
24年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,200	36.0	480	1,043.2	480	1,583.3	380	532.1	61.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	6,200,000 株	23年3月期	6,200,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	447,977 株	23年3月期	4,164 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	6,153,421 株	23年3月期3Q	6,196,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1)連結経営成績に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 2
（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
（１）四半期連結貸借対照表 …… 3
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）セグメント情報等 …… 7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（６）追加情報 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による被害の影響から徐々に立ち直りつつあるものの、中国やインドにおける成長の鈍化及び欧州における金融不安等による歴史的な円高の継続や空洞化による輸出不振などにより、雇用、所得環境が依然好転せず、景気の先行きは引き続き不透明な状況が続いております。

このような環境のもとで当社グループは、東日本大震災の復旧、復興に関わる商品を優先的に提供したことに加え、前期よりスタートした３ヶ年の中期経営計画の２年目に当たる当第３四半期において、主力商品の油圧ブレーカー、圧砕機、環境関連機器の販売に注力しました結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高5,574百万円（前年同期比51.9%増）、営業利益385百万円（前年同期は営業損失71百万円）、経常利益397百万円（前年同期は経常損失85百万円）、四半期純利益348百万円（前年同期は四半期純損失82百万円）となりました。

当第３四半期連結累計期間のセグメント別の業績は次のとおりであります。

国内事業は、売上高全体で4,824百万円（前年同期比60.4%増）となっており、主に大手レンタル業者の被災地向けアタッチメントの売上増等が寄与した結果、油圧ブレーカーの売上高は461百万円（前年同期比72.7%増）、圧砕機は1,824百万円（前年同期比84.4%増）となり、環境機械に関しては東日本の被災地の瓦礫処理など復旧需要向け大型機械を優先的に提供した結果売上高は728百万円（前年同期比44.7%増）となりました。その他の原材料売上高は754百万円（前年同期比9.1%増）及び修理売上高393百万円（前年同期比22.9%増）となっております。

海外事業は、円高基調にもかかわらず、主に米国でのレンタル業者向け売上増が寄与した結果、売上高749百万円（前年同期比13.4%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における資産の残高は、9,342百万円（前連結会計年度末8,677百万円）となり664百万円増加しました。現金及び預金が648百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が629百万円、前渡金等を含むその他流動資産が346百万円、たな卸資産が388百万円増加したことが主な要因です。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末における負債の残高は、5,415百万円（前連結会計年度末4,904百万円）となり511百万円増加しました。支払手形及び買掛金が738百万円増加したことが主な要因です。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の残高は3,926百万円（前連結会計年度末3,773百万円）となり152百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

現段階において平成23年11月４日に公表いたしました通期の見通しを変更しておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,298,164	1,649,242
受取手形及び売掛金	1,944,001	2,573,503
商品及び製品	973,366	1,195,454
原材料及び貯蔵品	869,464	1,035,864
その他	117,243	463,797
貸倒引当金	△6,525	△10,769
流動資産合計	6,195,715	6,907,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	589,434	562,048
機械装置及び運搬具（純額）	199,298	198,182
土地	1,423,710	1,423,710
その他（純額）	23,019	21,405
有形固定資産合計	2,235,462	2,205,346
無形固定資産		
その他	149,390	142,183
無形固定資産合計	149,390	142,183
投資その他の資産		
その他	103,204	97,919
貸倒引当金	△5,810	△10,427
投資その他の資産合計	97,393	87,492
固定資産合計	2,482,246	2,435,022
資産合計	8,677,962	9,342,115

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,137,820	1,876,231
短期借入金	2,550,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	294,808	289,868
未払法人税等	18,139	68,577
賞与引当金	83,690	46,862
その他	110,216	140,128
流動負債合計	4,194,675	4,771,668
固定負債		
長期借入金	336,542	296,781
退職給付引当金	262,572	256,326
役員退職慰労引当金	77,950	68,662
その他	32,283	22,341
固定負債合計	709,348	644,112
負債合計	4,904,023	5,415,780
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,049,700	1,049,700
資本剰余金	1,000,265	1,000,265
利益剰余金	1,865,241	2,182,467
自己株式	△1,106	△125,339
株主資本合計	3,914,099	4,107,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,082	△72
繰延ヘッジ損益	1,350	△4,853
為替換算調整勘定	△142,593	△175,831
その他の包括利益累計額合計	△140,160	△180,757
純資産合計	3,773,938	3,926,334
負債純資産合計	8,677,962	9,342,115

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
売上高	3,669,775	5,574,067
売上原価	2,625,514	3,899,532
売上総利益	1,044,261	1,674,535
販売費及び一般管理費	1,115,548	1,288,666
営業利益又は営業損失（△）	△71,287	385,868
営業外収益		
受取利息	2,746	6,175
受取配当金	386	813
固定資産売却益	29,161	31,092
その他	7,785	6,410
営業外収益合計	40,080	44,492
営業外費用		
支払利息	35,543	27,533
債権売却損	2,614	3,828
為替差損	14,721	－
その他	922	1,455
営業外費用合計	53,801	32,816
経常利益又は経常損失（△）	△85,008	397,544
特別損失		
割増退職金	4,150	－
特別損失合計	4,150	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△89,158	397,544
法人税等	11,163	49,339
法人税等還付税額	△17,871	－
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△82,450	348,205
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△82,450	348,205

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△82,450	348,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△519	△1,154
繰延ヘッジ損益	△1,595	△6,204
為替換算調整勘定	△45,284	△33,237
その他の包括利益合計	△47,399	△40,596
四半期包括利益	△129,850	307,608
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△129,850	307,608
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,008,316	661,459	3,669,775	－	3,669,775
セグメント間の内部売上高又は振替高	30,789	1,211	32,001	(32,001)	－
計	3,039,106	662,671	3,701,777	(32,001)	3,669,775
セグメント損失（△）	△32,739	△49,039	△81,779	10,491	△71,287

調整額は以下のとおりであります。

（注）１　セグメント損失の調整額10,491千円には、セグメント間取引消去9,771千円及びその他720千円が含まれております。

２　セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内	海外	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,824,145	749,921	5,574,067	－	5,574,067
セグメント間の内部売上高又は振替高	67,850	50,373	118,224	(118,224)	－
計	4,891,996	800,295	5,692,291	(118,224)	5,574,067
セグメント利益又は損失（△）	456,905	△72,072	384,832	1,036	385,868

調整額は以下のとおりであります。

（注）１　セグメント利益又は損失の調整額1,036千円は、セグメント間取引消去1,036千円であります。

２　セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。